

大正十二年三月

情報彙纂 第一

朝鮮統治ニ關スル外國人ノ批評

朝鮮情報委員會

국회도서관



00105474

三二一

청구 320.951
번호 2538스

등록 105474
번호

저자명 朝鮮情報 卷第1

서명 情報彙纂 卷第1

소속	이름	대출일	반납 예정일	반납일

ムブルエン
ンシー著
ムーア 述

朝鮮自決ノ要望

朝鮮生レノ米國人　ゼー、イー、ムーア述

譯者曰ク本篇ハ排日宣傳ノ小冊子ニシテ文意ニ依リ察スルニ昨大正八年騷擾事件中米國ニ於テ刊行シタル
モノナルカ如シ

朝鮮ハ今ヤ又世界列國ノ眼前ニ出現シ來レリ一九一九年三月一日歷史上最モ驚歎スヘキ所謂「消極的反抗運動」ナルモノ起リ三百萬ノ會員ヨリ成リ且二千萬民ノ意見ヲ代表スル朝鮮國民獨立團ハ朝鮮ノ獨立ヲ宣言シ之ト同時ニ西伯利「ニコルスコエ」ナル朝鮮國民會議ハ全世界ノ有ラユル領事館ニ該宣言書ヲ送付セリ

該宣言書ニ曰ク「世界改造ノ本義ニ順應シテ我等ノ自由且永久ナル國民性開發ノ權利ヲ獲得シ我等ノ獨立ヲ保有シ種種ノ害惡ヲ芟除シ現在ノ艱苦ヲ擺脫シ我等ノ子孫ノ爲痛恨ト汚辱トノ遺産ヲ存置スルコトナクシテ永久ノ自由ヲ遺留スルハ吾人ノ神聖ナル義務ナリ」ト獨立團ト在外ノ朝鮮國民協會トハ平和會議ニ對スル代表者ヲ選出シ其ノ一人ハ已ニ巴里ニ在リ傳來ノ飛電ハ一トシテ發展迅速ナル本運動ノ新事實ヲ報セサルハナク其ノ言フ所ニ依レハ本運動ハ局面ノ開展顯著ニシテ今ヤ朝鮮全國ニ瀰漫シ且有ラユル在外朝鮮人團體ヲ包擁セリ朝鮮人ノ代表的團體ハ悉ク之ニ參加シ朝鮮ノ主導的人物等ハ總テ其ノ思慮ト活動力トヲ

之カ爲ニ傾倒シツツアリ斯ノ如キ運動ノ朝鮮ニ興起セルハ多年來曾テ見サリシ所ナリ

日本ハ豫期ノ如ク之ニ對スルニ暴力ト殘忍トヲ以テシタリ當初ノ電信ハ殺戮五百人ト報シ近日ノ打電ハ二日間ニ一萬人殺害サレタト傳又獄ニ投セテ虐待ヲ受ケタル者千ヲ以テ數フヘク一少女ニシテ手ニ獨立宣言書ヲ捧ケ居タリト又兩腕ヲ斷テ切ラタ者アリト云フ加フルニ日本軍隊渡鮮ノ風説アリ朝鮮全土ハ先年ノ日本占領後ニ於ケルカ如キ大規模ナル殺戮ト恐怖主義トノ怖ルヘキ惡夢ニ蔽ハレタリ之ニ對シテハ何等カノ方策ヲ講セサルヲ各國ノ光明アル感想ハ須ラク奮興シテ將ニ半島全土ノ基督教徒及無辜平ナル陳情ノ機會ヲ得セシメサルヘカラス此ノ兇猛ト暴虐トヲ抑止シ巴里ニ於ケル朝鮮人ノ訴願ニ公朝鮮ノ革命ハ朝鮮問題ヲ世界ノ新狀態ニ照シテ再ヒ陳訴セムコトヲ要求ス、朝鮮生レノ米人タル記者ハ同地ニ於テ實地ニ日本ノ施政ヲ見テ其ノ罪ナク咎ナキ朝鮮人ニ惡虐ヲ加フルヲ見テ其ノ血ヲ沸カシタルコトアリ又能ク朝鮮人ヲ知り且理解セル者ニシテ今ヤ其ノ請囑ニ依リ簡明ニ此ノ陳訴ヲ述フル所アラムトス

第一 朝鮮ノ要求ハ正當ナリ

自決權確立ノ原則ハ如何ナル隸屬民ト雖朝鮮民族ノ如ク直接之ニ適合スルモノナシ朝鮮民族ハ——恐ラク世界ニ於テ最モ統合セル——獨特ノ一民族ナリ、朝鮮ハ數百年間別個ノ政體ヲ爲シテ存立セリ朝鮮ハ其ノ

主權ヲ奪取セラレタルモノナリ親日論者ノ頻リニ説クカ如キ朝鮮舊政府ノ多少ノ無能腐敗、日本ノ統治ノ下ニ於ケル、記者ノ首肯セサル、朝鮮ノ幸福増進等ノ舊説ハ假令之ヲ容認スルトスルモ問題ノ肯綮ニ觸レサルモノナリ、獨逸ハ其ノ能力ニ於テ遙ニ白耳義ヲ凌駕シタリシヤモ知ルヘカラス然レトモ世界ハ之カ爲獨逸ノ白耳義ヲ劫掠シ之ヲ普魯西化スルヲ承認セサリシナリ米國ノ南部諸州モ黑奴ハ自由ヨリモ奴隸ノ境遇ニ在ルヲ幸福トスト論セシニ非スヤ予ノ隣人カ家政ニ堪能ナリトノ故ヲ以テ其ノ予カ家ニ侵入シテ之ヲ奪取スルノ理由ト爲スヘキニ非ス日本カ過剩人口ノ捌口トシテ朝鮮ヲ要ストノ議論亦之ニ異ナラス獨逸カ出口ヲ要スト主張スルノ理由ヲ以テ吾人ハ彼カ白耳義ヲ侵略シ且其ノ隣國ヲ蹂躪シテ地中海ニ達スル通路ヲ開カムトシタル行爲ヲ是認セシコトアリシヤ而シテ吾人ハ本項ノ結論トシテ近者纔ニ終熄シタル彼ノ怖ルヘキ戰役ハ若シ何等カノ意義ヲ有ストセハ 若シ又其ノ貴重ナル生命ノ有ラユル犠牲カ徒爾ナラサリシトセハ——世界ヲシテ民主主義ノ爲ニ安全ナラシメ有ラユル民族ヲシテ自決及自我主張ノ權利ヲ得セシムルノ日ヲ吾人ニ齎ラシ來レルモノナルコトヲ記セサルヘカラス若シ吾人ノ軍隊ニシテ其ノ血ヲ流シテ世界ノ爲ニ是等ノ權利ヲ贏チ得タルモノナリトセハ朝鮮ノ要求ハ之ヲ是認スヘキモノナリトス

第二 朝鮮ニ於ケル日本ノ政策ハ徹頭徹尾不公正ト強壓トヲ以テ顯著ナリ

若シ日本ニシテ朝鮮民衆ノ友情ト好意トヲ得ムト努力シ其ノ方針ニシテ眞ニ朝鮮ノ政治及社會ヲ向上セシメ之ヲ益シ之ヲ改造スルニ在リタリシナラムニハ又別問題ナリト雖事實ハ然ラサリシナリ、朝鮮ニ於ケル

日本ノ政策ハ當初ヨリ朝鮮ノ民族的精神ヲ壓滅シ其ノ有ラユル國民的意識ヲ根絶シ朝鮮人民ヲシテ隸屬民族ノ地位ニ甘ンセシメムトスルニ在リシナリ

今左ニ日本カ此ノ目的ヲ達成スル爲取リタル手段ヲ簡單ニ記述セムトス而シテ吾人ハ先ツ世界ニ熟知セラ
ルル事實ニ就キ觀察スル所アルヘシ

(一)日本ハ朝鮮ノ獨立ヲ篡奪セリ

此ノ一事ハ久シキ以前ヨリ既ニ歴史ニ屬セリト雖其ノ惡逆不公正タルコトハ之ニ依リテ免ルルコトヲ得ス況ヤ朝鮮獨立騷擾ノ其ノ遺骸ヲ埋葬地ヨリ引キ出シテ再ヒ之ヲ世ノ光明ニ照示セシメタルニ於テヲヤ、一九〇四年(明治三十七年)朝鮮ハ日本トノ協約ニ於テ戰後完全ニ獨立ヲ回復スルトノ了解ノ下ニ戰鬪行爲遂行ノ爲該半島ヲ利用スルコトヲ承認シタリ其ノ後約一年軍事上ノ便宜總テ日本ノ手ニ歸シ日本ノ兵士八道ニ充滿シ朝鮮ハ全ク日本ノ掌中ニ在リテ又如何トモスル能ハサルニ至ルヤ伊藤公ハ一隊ノ兵士ヲ率ヒ銃砲ノ威力ヲ楯トシテ朝鮮内閣ヲ強壓シ之ヲシテ朝鮮ノ獨立權ヲ放棄セシメ之ト同時ニ日本ハ世界列國ニ對シ朝鮮ハ任意ニ日本ノ保護ニ信賴セリト通告スルノ措置ヲ取リタルモノナリ

(二)日本ノ戰役中ニ於ケル朝鮮占領ト之ニ次ク其ノ事實的併合トハ殘忍、強壓、暴虐ノ行爲ト相伴ヒ其ノ狀白耳義ニ於ケル獨逸ノ行動ノ外比較スヘキモノナシ

無害ノ婦人カ兵士ノ凌辱ヲ受ケ無辜ノ朝鮮人カ市上ニ於テ日本人ニ襲撃セララルカ如キハ日常ノ茶番事ニ

シテ竊盜、奸詐、沒收ノ如キ亦其ノ年中行事タリ或ハ住宅家庭ヨリ追出サレ或ハ打タレ虐ケラレ又殺害セラレ或ハ生活ノ資料スラ奪取セラルル等民衆ノ慘狀言語ニ盡シ難ク是レ皆記者ノ目撃セシ所ナリ

一九〇七年(明治四十年)夏少數愛國者ノ奮起シテ事ヲ舉ケタル時ノ如キ之ニ對スル日本ノ政策ハ漸次峻烈ヲ如ヘ當時地方旅行中ナリシ一記者カ「現下ノ文明時代ニ於テ最モ暴戾ヲ極メタル震懼スヘキモノ一ナリ」ト稱セシカ如キ討伐行動ヲ敢テスルニ至レリ無辜ノ人民ハ大袈裟ニ屠殺セラレ村落ノ全滅セシモノ數十二及ヒ婦人ニシテ虐ケラレ、傷ケラレ、銃劔ヲ以テ刺サレ又小兒ニシテ射撃セラレタル者アリ而モ其ノ理由トスル所ハ單ニ彼等ノ住宅ノ附近ニ於テ叛徒ノ鬪爭セシカ爲ナリト謂フニ過キサリシナリ

當時日本ノ半島施政ハ軍國的政治ニ偏シ引續キ人民ニ壓制暴虐ヲ加ヘタリ人民ハ無實ノ罪科ニ依リ獄ニ投セラレテ拷問ヲ受ケ罪無クシテ郷土ヲ追放セラレ又ハ數年ノ懲役ニ處セラレタル者アリ教會ノ如キモ何等ノ理由ナクシテ侵入セラレ會衆ノ解散ヲ命セラレタルコトアリ朝鮮人ハ生命、自由又ハ榮達ノ保障殆トナク公正ノ保持ノ如キ更ニ覺束ナカリシナリ、土地、漁業、商業、銀行其ノ他有ラユル生活ノ手段ハ皆征服者ノ手ニ歸シサナキタニ疲憊セル人民ハ其ノ生存ノ爲一層ノ辛苦ヲ嘗メサルヲ得サルニ至レリ

伊藤侯(原文ノ儘)ノ文治ノ下ニ朝鮮人民ノ小康ヲ得タルハ事實ナリト雖伊藤公ノ暗殺後再ヒ武斷主義ヲ專ラトシタル寺内ノ下ニ於テハ朝鮮民族ハ恐怖時代ト稱スルノ外ナキ治世ニ屈服セシメラレタリ一九一二年(明治四十五年)基督教會ハ特ニ異常ナル激怒爆發ノ犠牲ト爲リ朝鮮ノ諸地方ニ於テ多數ノ朝鮮人牧師及有

カナル基督教徒ハ逮捕セラレテ怖ルヘキ拷問ニ懸リ基督教會及信徒全般ハ日本憲兵ノ常ニ彼等ニ加フル侮辱ト脅嚇ノ態度トニ依リ絶エス昂奮動搖ノ状態ニ在リタリ彼ノ有名ナル陰謀事件ニ於テハ約百二十名ノ基督教有力者笑フヘキ總督暗殺ノ嫌疑ニ因リテ審問ヲ受ケ世界ノ視聽ヲ聳動セリ是等ノ被告ニ對スル怖ルヘキ虐待ハ一般ノ熟知セル所ナリ、日本カ本件ニ伴フ其ノ憤激ヲ巧ニ隱蔽シ間モナク世界ヲシテ日本ノ目的ノ仁慈ニ在ルコト及朝鮮人ノ幸福ノ日本ノ治下ニ於テ從前ヨリモ非常ニ多ク増進セルコトヲ認知セシメタル手際ハ實ニ驚クヘキモノアリ而シテ上記ハ皆世上周知ノ事實ナリ

吾人ハ日本カ朝鮮人ヲ懷柔シテ農奴ト擇ハサルノ地位ニ陷レ樵夫、水汲タルノ外又途ナキニ至ラシメ且有ラユル朝鮮固有ノ事物ヲ滅絶セムトセシ政策ニ關シ更ニ未知ノ事實ヲ舉示スヘシ而シテ是等ノ事實ハ近時朝鮮ヨリ歸來シタル信用スルニ足ル人士等ノ所說ニ基キテ輯録シタルモノナリ

(一)内幕ノ曝露 朝鮮人ノ内面生活ニ懸リタル祕密ノ幕ハ取除カレタリ朝鮮ヲ世界ヨリ隔離シ朝鮮人ノ出國ヲ禁シ極力新聞通信檢閲ヲ嚴密ニシ朝鮮視察者及觀光客ヲ親日主義ノ居留外人又ハ著名ナル日本人ノ手ニ委シテ之ニ乾杯、饗宴、勳章等ヲ與ヘ世界各地ノ圖書館有力者等ニ宣傳的報告書及冊子ヲ配付シテ絶エス朝鮮進歩ノ狀況ヲ吹聽シ人民ノ真相ヲ陰蔽スル等種種ノ方法ニ依リ日本人ハ巧ニ世界ヲシテ過去ニ於テ如何ナル失態アリシニモセヨ現在ノ状態ハ理想的ニシテ朝鮮人民ハ日本ノ統治ニ甘ンセルモノト信セシムルヲ得タルモノナリ

(二)探偵組織 嚴密ナル探偵組織已ニ創始セラレ何人ニテモ一姓名ヲ登録スルコトヲ要シ之ニ各番號ヲ附シ警察官憲ニ周知セシム又何人ニテモ其ノ居住市町村ヲ去ラムトスルトキハ其ノ都度警察官署ニ届出テ且其ノ行先地及用務ヲ詳細ニ申告セサルヘカラス警察官ハ之ヲ彼ノ行先地ニ電話シ彼ノ行動ニシテ苟クモ其ノ申告ニ違フ所アレハ則チ逮捕ト酷遇トヲ免ルルヲ得サルナリ又教養、勢力、地位等ヲ基礎トシテ嚴密ニ人民ヲ分類シ人若シ部内ノ主導者タラムトスル能力又ハ素質ヲ現ハセハ直ニ之ヲ「A」ノ部類ニ登録シテ之ニ密偵ヲ附ス其人ハ爾後到處ニ尾行セラレ爲ニ却テ著名ノ人物ト化ス小兒ニスラ注意ヲ加ヘ又ハ賞與ヲ給シテ情報ヲ偵察スルコトアリ人若シ脱國セハ彼ノ番號ヲ手懸リトシテ之ヲ追跡シ其ノ家族又ハ親戚ヲ逮捕シ或ハ拷問ヲ加ヘテ其ノ所在ヲ自白セシム何時タリトモ人ニシテ不意ニ其ノ姿ヲ失ヒ遂ニ再ヒ聞ク所ナキニ至ルナキヲ保セス是レ普魯西主義ノ甚シキモノニシテ其ノ目的トスル所斯クシテ民族的精神ヲ潰滅セムトスルニ在ルナリ

(三)教育ト此ノ方針 叙上ノ方針ハ教育制度ニ於テモ行ハレ其ノ手段トシテ朝鮮地理及歴史ノ教授ヲ禁シ日語ニ通スル教師、官府發行ノ教科書及實利アルモ精神開發ノ效ナキ教科目ニ限り之カ採用ヲ認可シ歐洲ノ歴史文學其ノ他苟クモ實際人物修養ニ資スヘキ教科ハ之ヲ除外シ朝鮮學生ノ高等教育ヲ阻礙シ事實上之ヲ受クルノ權利ヲ剝奪シ朝鮮學生ノ海外留學ヲ禁シ實際ニ於テ其ノ國ヲ去ルヲ禁シ御眞影ノ禮拜ヲ命令シ學生ヲ強ヒテ日本ノ大祭日ヲ祝頌シ彼等ヲ刺戟シテ日本の愛國心ヲ表彰セシメ彼等カ朝鮮人固有ノ觀念又

ハ志望ヲ保持シ又ハ表白スルコトヲ禁止シツツアリ一學生ノ如キ舊韓國國歌ヲ吟唱シテ逮捕セラレ爲ニ禁錮三箇月、罰金三百弗ニ處セラレタルコトアリ苟クモ人心ニ神聖ナル權利アリトセハ思想及教育ノ自由ノ如キ即チ是ナリ精神的奴隸ヲ強ヒラルルノ民族ニシテ其ノ自決ノ爲事ヲ舉ケテ世界ノ批判ニ訴フル者アリタリトテ吾人ハ之ヲ非難スルヲ得ヘキカ

(四) 宗教ト此ノ方針 此ノ方針ハ宗教ニ關シテモ實行セラレ之カ爲政府ノ免許ヲ得スシテ牧師ノ布教スルヲ禁シ特許ヲ受ケスシテ宗教上ノ集會又ハ會合ヲ催スコトヲ禁シ數多キ基督教學校ニ於テスラ聖書ヲ教授スルコトヲ禁シ官立學校生徒ニ日曜日ノ作業ヲ強制シ又日曜日ニ於テ朝鮮人ニ住宅清潔法ヲ強制スル爲基督教徒ハ勢ヒ安息日ヲ破ラサルヲ得サルニ至リ總テノ人ニ御眞影ノ禮拜ヲ命令シ教會ノ禮拜ニ一密偵ヲ放チ説教中感情ヲ高調シ又ハ強烈ナル言辭ヲ用井若クハ其ノ祈禱熱誠ニ過キタリトノ理由ヲ以テ牧師ヲ捕縛シ甚シキハ日本帝國ヲ擱キ神ノ王國ノ爲ニ説教シタリトテ一牧師ヲ逮捕スルニ至レリ又或時ノ如キ『我ハ王ノ大使ナリ』ト題スル讚美歌カ秩序紊亂ノ感想ヲ包含ストノ理由ニテ之カ歌唱ヲ制止セラレタルコトアリ朝鮮基督教徒全般ノ信仰ヲ顛覆スル爲宣傳運動組織セラレタリト世ニ傳ヘラレタルコトスラアリ日本人ハ基督教カ自由ト民主主義トノ種子ヲ包有スルヲ理由トシテ朝鮮ニ於ケル其ノ宣布ヲ恐レ且忌メリ是レ前記ノ如キ壓制虐待アル所以ニシテ之カ爲基督教會ハ常ニ不當ナル監視ノ犠牲ト爲リ基督教有力者ハ絶エス逮捕、追放又ハ夫レ以上ノ酷遇ニ遭ハムトスルノ苦境ニ在ルナリ

(五)此ノ方針ト社會狀態 此ノ方針ハ公衆道德ヲ頽廢セシムルコトニ依リ一般社會ニ之ヲ實行セラル日韓併合後間モナク日本政府ハ日本人當業者ニ全土ヲ行商シテ「モルヒネ」ヲ販賣シ朝鮮人間ニ於ケル「モルヒネ」注射ノ習慣ヲ助長スルコトヲ免許セリ次ニハ日本ノ醜業婦渡來シ其ノ數今ヤ千ヲ以テ數フヘク彼等ハ殆ト日本民族ノ特徴タル此ノ社會的惡習ノ怖ルヘキ害毒ヲ以テ朝鮮ノ社會ヲ腐敗セシメツツアリ又日本人ノ施設ニ係ル公衆浴場アリテ男女混浴ヲ行ヘリ謹ミ深キ朝鮮人ノ氣質及朝鮮人ノ道義的標準ニ對シテハ此ハ容易ナラサル脅威ニシテ朝鮮少年ノ上ニ將來由由シキ結果ヲ齎ラスニ至ルヘシ朝鮮舊來ノ思想ハ賣淫、公衆浴場及賭博ノ爲大危險ニ瀕シ居レリ

(六)此ノ方針ト市民生活 此ノ方針ハ色色ノ方法ニ依リ市民生活ノ上ニ實行セラレタリ壓迫抑制ハ到處ニ行ハレ如何ナル種類ノ集會ト雖其ノ社交的ナルト否トヲ問ハス苟クモ五人以上集合スル場合ニハ特許ナクシテ之ヲ開催スルコトヲ得ス朝鮮人ノ刊行物ハ如何ナル種類ノモノト雖事實上總テ發行ヲ禁止セラル朝鮮人ニシテ敢テ思想又ハ發議ノ自由ヲ口ニスル者アラハ开ハ求メテ否運ニ陥ル者ナリ朝鮮人ハ高官ニ任セララル見込ナク又經濟上ニ在リテハ産業的奴隸ノ地位ニ在ルニ過キス何トナレハ富源開發ノ權利ハ總テ日本人ニ附與セラレ日本商人ハ優先的待遇ヲ與ヘラレ隨テ朝鮮商人ハ到底之ト競争スルノ力ナケレハナリ朝鮮人虐使ハ尙一般ニ行ハル道路ハ人民ノ爲ニ建設スルモノナレハ賦役ノ無報酬ナルハ當然ナリトノ説明ノ下ニ人民ハ無報酬ニテ鐵道又ハ治道工事ニ就役ヲ強ヒラルルコト珍シカラス公正保持ハ依然トシテ一ノ笑柄

タルニ止マリ法廷ニ於テハ日本人ニ對スルヨリモ遙ニ峻嚴ナル法制ヲ適用シテ朝鮮人ヲ裁判スル由ニテ法廷ニ於テ朝鮮人ノ受クル不法ノ痛苦ハ語ルタニ心ヲ傷マシムルモノアリ凌辱虐待ハ今尙珍ラシカラス日本警察官カ朝鮮人ノ生命自由ノ權利ヲ左右シ朴訥ナル地方人ヲ驅使酷遇スルモ世上ノ注意ヲ惹クコトナキ小市街又ハ村落ニ於テ殊ニ然リト謂フ

第三 日本ノ治下ニ在ル朝鮮ノ現状ハ堪ユヘカラサルモノアリ

近時朝鮮ニ在リタル一新聞記者ハ同地ニ於ケル日本ノ現時ノ政策ヲ評シテ穩和手段ヨリモ寧ロ暴力強壓ノ特色ヲ帶フト聲明シ且曰ク『其ノ官僚的恐怖主義ハ弊政ヲ隱蔽シ無法ニモ輿論又ハ不平ヲ訴フルノ自由ヲ抑壓シ其ノ狀恰モ基本的ノ公權スラ剝奪セラレ窘縮沈黙シテ不承認ノ意思ヲ表白スルノカスラナキ隷屬人ニ臨ムモノニ似タリ』ト而モ此ハ頗ル穩和ナル言明ニシテ實際ノ狀況ハ之ヨリモ遙ニ不良ナリ朝鮮人ハ虐使セラレ尾行セラレ壓迫セラレ最モ神聖ナル權利ヲモ剝奪セラレ思想、言論又ハ信教ノ自由ナク自己開發、自我主張ノ有ラユル方途ヲ閉サレ生活資料ノ多クヲ奪ハレ産業上並政治上ノ奴隸ニ身分ヲ引下ケラレ動モスレハ投獄、追放其ノ他ノ虐待ヲ加ヘラレムトシ又其ノ方法自己ノ意思ニモ良心ニモ協ハサル子弟ノ教育ヲ甘受坐視セシメラレ自己ノ青年ハ道德上危險ナル腐敗的感化力ノ下ニ置カレ自己ハ征服者ノ侮蔑ヲ受ケテ隷屬民族タル痛マシキ意識常ニ絶ユルコトナシ——斯ノ如クニシテ朝鮮カ民族自決權ヲ要求スルニ何ノ不思議カアラム

第四 朝鮮ハ自治ノ資格アリ

朝鮮ハ已ニ記セシカ如ク數百年間一ノ自治的國民タリシナリ支那ノ行使セシ宗主權ハ有名無實ニシテ保護權ヲ以テ目スヘキ特徴スラ無カリシナリ名許リノ朝貢ヲ爲セシ外、朝鮮ハ自己ノ意ノ儘ニ放任セラレ何レノ點ヨリ見ルモ事實上數百年間自治ノ國民タリシモノナリ今ニ於テ舊韓國政府ノ腐敗衰頹ヲ議スルカ如キハ事問題外ニ屬シ當ニ朝鮮ノ獨立權ニ何等關係スル所ナキ言議タルノミナラス又朝鮮ニシテ自決權ヲ認メラルレハ其ノ新政府ハ民主主義ノ方式ニ依リテ組織セラルヘキ事實ヲ無視スルモノナリ朝鮮ノ要求スル所ハ自我主張及開發ノ權利ニ在リ今日ノ如キ機會ハ彼等ノ未タ曾テ有セサリシ所ナリ朝鮮ノ上古期中其ノ將ニ獨立自主ノ徑路ニ就カムトセシ時代ニ於テ輸入セラレ朝鮮ヲシテ東洋ノ先進國タラシメムトシテ果サザリシ支那舊文明ノ惡夢ヨリ解放セラレ且日本ノ專制政治ヨリ免レシメムカ朝鮮ハ第六世紀以後茲ニ初メテ自我主張及開發ノ機會ヲ得ルコトト爲ルヘシ日本ノ探偵組織ノ嚴密ナルニ拘ラス能ク海外留學ノ目的ヲ達シテ民主政治ノ理想ヲ體得セル數百ノ鮮人學生アリ加之朝鮮ニ於テ高等教育ノ業ヲ卒ヘタル者甚タ多ク又舊時代ノ朝鮮人ニシテ博大ナル教養ト學識トヲ有スル者亦尠カラス是等ノ中心人物及將來主導者タルヘキ素地アル者ハ勿論從來久シク失政ノ艱苦ヲ嘗メタル一般人民ニ在リテモ此ノ苦カキ經驗ニ依リテ痛切ニ代議政體ノ必要ヲ自覺シ且該政體ノ執ルヘキ針路ヲ知了スルニ至レリ朝鮮獨立宣言書ノ言フ所ニ據レハ朝鮮人ノ希望スル自我主張及開發ノ方針ハ世界改造ノ原則ニ順應セムトスルニ在リ朝鮮ニ關スル一大權威者ハ

曰ク『朝鮮人ハ本來卓越セル智能ヲ現ハスヘキ素質ヲ有ス——彼ヲシテ自由ニ且自然ニ發展スルノ機會ヲ得セシメムカ極東ニ於テ何レニモ劣ラサル智者ヲ出スヘシ』ト然ルニ彼ハ未タ曾テ斯ル機會ヲ有セザリシナリ今ヤ絶好ノ時機ハ來レリ吾人ハ斯クモ久シク保留セラレタル權利ヲ此ノ人民ニ拒否スヘキモノナルカ

第五 世界新狀態ト國際聯盟トノ發生ハ朝鮮民族自決權容認ノ最後ノ障礙ヲ取除ケリ

朝鮮ハ劣弱ナル國民ナリ朝鮮ハ一方支那ノ蠶食ニ遭ヒ他方露國ノ侵略ヲ免レス是レ日本ノ禍源ナルカ故ニ朝鮮ハ保護者ヲ有セサルヘカラストハ日本ノ從來說キ來レル大言ナリキ然ルニ第一、今ヤ支那ハ強固ナル民主的及社會主義的傾向ヲ有スル共和國ト化シテ其ノ舊帝國主義時代ノ特色タリシ侵略的傾向ハ已ニ消散シ殊ニ露國ニ於テハ一層其ノ然ルヲ見ルヘシ第二、支那モ亦日本ノ帝國主義ト軍國主義トノ大害ニ懲リ果テ心ヨリ朝鮮人ノ祖國復興ノ志望ニ同情セリ支那カ侵略ニ意アリト説クカ如キハ純然タル荒唐無稽ノ言ナリ露國ノ如キモ亦歐洲戰亂ノ齎ラシタル其ノ新狀態ニ鑑ミルトキハ確ニ斯カル憂ナキモノトシテ差支ナカルヘシ第三、縱令是等ノ問題ヲ除外シテ論スルモ歐洲戰役ノ遂行セラレタル所以ノ原則ハ個個ノ民族ノ悉ク自治自發ノ權利ヲ享有スヘキコトヲ要求セルノミナラス戰役ノ經過ハ此事ヲ可能ナラシメタルニ非スヤ該戰役ハ強力及軍國主義ノ政治ヲ廢絶シ小弱國民カ強隣ノ好餌タリシ時代ハ已ニ過キ去レリ世界的大戰カ何等カノ目的ヲ有シタリシトセハ世界ヲシテ軍國的欲求ノ咒咀ヨリ免レシムルコト即チ是ナリ況ヤ國際聯盟ハ戰役ノ成果ヲ保全セムトシテ存立セルニ於テオヤ國際聯盟ハ無數ノ生命ヲ犠牲ニシテ支持シタル

權利ノ尊重ヲ期スル一大警察力ナリ此ノ聯盟又ハ朝鮮民族ノ指定スル聯盟國ノ一員ノ保護ニ依ラハ外界ヨリスル侵略ノ危険全ク一掃セラレ朝鮮民族ハ平和ニ且安全ニ自家自ラ自家ノ指導、教育、開發、統治等ノ事ニ從ヒ以テ進歩ノ道程ニ上ルヲ得ヘシ

結 論

吾人ハ已ニ朝鮮カ自決ヲ要求スルノ權利ヲ有スルコト、朝鮮ニ於ケル日本ノ政策カ徹頭徹尾壓制ト不公正トヲ以テ著シク、尙殘忍橫暴スラ珍ラシカラサルコト、日本カ朝鮮ノ民族的精神ヲ壓倒シ彼等ヲシテ產業的奴隸ノ狀態ニ陥ラシメムトスルノ目的ヲ有スルコト及近時ノ在鮮米人ノ言ノ如ク『朝鮮ハ普魯西化セラレタル』コト等ヲ論述シタリ吾人ハ又日本ノ治下ニ在ル朝鮮ノ現狀ハ忍フヘカラサルモノナルコト、朝鮮ハ日本ノ把握ヨリ解放セラレサルヘカラサルコト、朝鮮ハ自治ノ資格アルコト、世界ノ新狀態ノ下ニ於テハ朝鮮ノ自決ヲ沮止スル理由ナキコトヲ明ニシタリ

朝鮮人ノ自治ニ對スル要求ト全國民ノ參加セル此ノ獨立運動ニ對スル日本ノ鎮壓手段ノ苛酷ヲ訴フルノ聲トハ全世界ニ對シテ叫ビ出サレタルモノナリ

進歩セル感想ヲ有スル米國ノ人士ハ第一、朝鮮獨立運動ノ主導者ヲシテ人道ニ叶フ公正ナル處遇ヲ受ケシメ第二、朝鮮人ノ自決權ヲ獲得セムトスル訴ヲシテ巴里ニ於テ公正ナル審判ヲ受クルヲ得セシムルコトニ付須ラク措施スル所ナカルヘカラス

世界ニ於テ朝鮮ノ民主政治ヲ安全ナラシムルコトニ關シテハ其ノ成行如何

一九一九年三月二十日發行『紐育アメリカン』紙社説大意

同紙ハ朝鮮獨立運動ニ關スル北京電報全文ヲ再掲シタル後扱テ曰ク『朝鮮ノ獨立及中立ハ獨逸ノ白耳義ニ於ケルカ如ク日本ノ爲無法ニ且強壓的ニ蹂躪セラレタリ白耳義ニ於ケル獨逸ノ惡逆ト雖之ヲ日本人カ無辜ノ朝鮮人民ニ加ヘタル殺戮、横暴、蠻行ニ比スレハ實ニ小事件タリ然ルニ白耳義ノ爲愛憐憤激ヲ極メタル米國人モ朝鮮ニ於ケル日本ノ兇猛ニ付テハ殆ト注意スラ拂ヒシコトナク或ハ却テ朝鮮人ノ如キ質朴ナル人中不平騷擾ノ事アルヲ怪ミテ之ヲ公言スル者アリ又或ハ日本ノ手先ノ如ク其ノ宣傳ノ援助ヲ爲ス者アリ何レノ政府——我等ノ政府ヲ含ム——モ何等抗議スル所ナク無援ノ朝鮮民族ヲ日本ノ專制政治ノ蹂躪ニ委シテ顧ミサルニ於テハ所謂世界ヲシテ民主主義ノ爲ニ安全ナラシムルトノ美言モ果シテ何ノ價值カアルヘキ斯クテハ此ノ警語モ一ノ偽善的壯語タルニ止マルニ非スヤ云云

朝鮮人ノ訴

一九一九年三月十四日發行『サンディアゴ・ユニオン』紙社説大意

平和會議ノ國際聯盟委員部ハ多分朝鮮問題ヲ受理スルナルヘシ朝鮮人ハ其ノ獨立ノ要求ヲ聯盟ニ提起スルノ準備ヲ爲セリ世界ヲシテ民主主義ノ爲ニ安全ナラシメサルヘカラストノ「ウヰルソン」氏提唱ノ原則ニシ

テ主要強國ノ嚴守スル所ナラシメハ朝鮮ノ訴願ハ波蘭、「ユーゴー・スロヴァキア」、「チェック・スロヴァキア」等ト同等ノ基準ニ於テ之ヲ攷究セサルヘカラス

朝鮮ノ要求ハ波蘭ノ獨立ノ如ク歴史的事實ニ立脚セルモノナレハ「スロヴァキア」諸民族ノ要求ヨリ寧ロ根據深キモノナリ彼等ハ判然タル別個ノ民族ヲ爲シ加之會テ別個ノ政府ヲ支持シテ存立シ且後ニ其ノ主權ヲ奪ハレタルモノナレハナリ

朝鮮人ハ同一分子ヨリ成レル純一ナル人民ナリ恐ラク猶太人以外何レノ民族ヨリモ統一アル人民ナリ朝鮮民族ノ起源ハ極メテ古ク遼トシテ最遠ノ太古ニ在リ彼等ハ機敏ナル智能ヲ有スレトモ強隣ノ侵略ヲ抗拒スルニ足ル勢力ト意氣トヲ缺如セリ其ノ國土ハ八萬二千方哩ノ面積ヲ有シ其ノ人口ハ一千二百萬乃至一千七百萬ト稱セラル

庸弱ナル朝鮮王ハ一九〇五年(明治二十八年)政治監督ノ權ヲ日本ニ引渡シ爾後大ニ日本ノ保護權ヲ擴大シ其ノ國土ハ遂ニ全ク日本ノ一地方ト擇ハサルニ至レリ

朝鮮人ハ會テ數百年間支那駐在官ノ仁政ニ安ンシタリシト雖日本ノ宗主權行使ニ對シテハ常ニ憤慨シ居タリ

朝鮮ノ列強ニ對スル歎願ハ其ノ能力相當ノ自治權ヲ獲得シ其ノ力ノ及ハサル事項ニ關シテハ總テ聯盟會議ノ指揮ニ委セムトスト謂フニ過キス彼等ノ極力抗爭セムトスル所ハ富源ヲ濫用シ人民ヲ壓迫セムトスル單

一強國ノ直接監督ニ在リ要スルニ彼等ハ日本ノ附庸國タルヲ願ハサルナリ

國際聯盟ハ其ノ成立ノ曉ニ於テ必スヤ朝鮮ニ對シ其ノ賢明ニ且有效ニ活用シ得ル範圍内ニ於テ十分ノ獨立ヲ與フヘシ日本ノ朝鮮保護ハ當初一種ノ亞細亞モンロー主義ノ必要ニ合致シタルモノナリキ朝鮮ハ弱國ニシテ既ニ一度日露開戰ノ禍因ヲ爲セリスノ如キ隣邦ニ主權ヲ委スルハ日本ノ堪ユル能ハサル所ナレハナリ然レトモ今ヤ國際聯盟約款協定中ニ屬シテ日本ノ領土保全ニ對スル彼カ如キ危險ハ全然一掃セラルヘク而シテ他ノ聯盟各國カ適當ト認ムル自決權ヲ此ノ柔順勤勉ニシテ平和ヲ愛シ而モ事實上無援無力ナル人民ニ許與スルノ途茲ニ打開セラルルナルヘシ

『朝鮮ニ於ケル獨立運動』ノ梗概

マツケンジー著

本書ハ千九百八年ニ出版セラレタル『朝鮮ノ悲劇』ノ最新改訂版ニシテ、日本カ朝鮮ニ諸般ノ革新ヲ齎シタルヲ承認スルモ、其レニ由ル利益ハ主トシテ日本移住者及ヒ日本資本家ノ壟斷スル所トナレリト云ヒ、更ニ進ンテ日本攻撃ノ要旨トシテ、日本カ鮮人ヲ目シテ劣等民族ト做スニモ拘ハラズ、其ノ同化ヲ強制スル爲ニハ、有ユル迫害ヲ鮮人ニ加ヘ、偶鮮人カ其ノ國民的感情ヲ表示セントスレハ、直チニ一大鐵鎚ヲ下シテ、該感情ヲ蹂躪シ根絶セン事ニ努ム。然モ貳千有餘萬人ノ鮮人ハ、其ノ長キ歴史ト古キ文化ヲ有スル事ヲ誇トシ、此等カ空シク廢滅ニ歸セントスルヲ好マサルヲ以テ、鮮人ノ同化ハ到底不可能ナリ。朝鮮ニ於テ最勢力アル日本人ハ曾テ余ニ語ツテ曰ク『由來殖民地統治ノ方法ニハ二種アリ。一ハ全然異邦人トシテ住民ニ臨ム事ニシテ、這ハ英國カ印度ニ於テ爲セシ所即チ印度英帝國カ永久ニ存續スル能ハサル所以ナリ。一ハ住民ヲ併入同化スルコトニシテ、將ニ日本ノ朝鮮ニ於テ爲サントスル所ナリ』ト。卷頭ノ數章ニ於テハ、日本ノ朝鮮併合ニ至ル迄ノ朝鮮ノ近代歴史ヲ詳述シ、李王朝ノ統治ハ有ラユル進歩ヲ阻害シタルモノト痛撃ス。鮮人ノ胸底ニ牢固拔クヘカラサル日本ニ對スル憎惡ノ念ヲ留メタル十六世紀ノ後半ニ行ハレタ

ル豊臣秀吉ノ朝鮮侵入以來、日本ハ決シテ半島併呑ノ野望ヲ棄テシコトナク、竹添氏カ初メテ京城ニ公使トシテ赴任シタル時ヨリ如何ニ日本カ絶ヘス朝鮮ニ於テ陰謀ヲ逞ウシタルカヲ記述シ、一章ヲ日本カ支那ト戰ハンカ爲メノ口實ヲ得ル目的ヲ以テ起シタル東學黨事件ニ費シ、日清戰後日本ノ對朝鮮態度ハ一變シ日本人ハ征服者トシテ雞林八道ヲ濶歩スルニ至リタリト説ク。此外日本人ノ閔妃暗殺、三浦氏ノ釋放、日本ノ企畫ヲ妨ケントシテ爲サレタル李王ノ露國公使館逃入、旅順口ノ領有ニ對スル日本ノ憤怒ヲ緩和セシカ爲メ露國ノ朝鮮ニ於ケル野心ノ放棄、並ニ再ヒ露國カ朝鮮併呑ヲ企テ延ヒテ日露ノ開戰ヲ來シタル迄ノ緯經ニ就キ仔細ニ述フ。

日露戰爭ノ初期ニ於テ、多數鮮人ハ日本ニ對シ好感ヲ示シ、日本人ノ對鮮人態度モ又批難ノ餘地ナカリシモ、日本ノ勝利ヲ得ルニ從ヒ、次第ニ放縱ニ流レ、且ツ品性劣等ノ日本人ノ集團ハ日本軍ニ伴隨シテ幾多ノ非行ヲ働キタリ。是等品性劣等ノ日本人ハ朝鮮ニトリテハ實ニ惡疫トモ謂フヘキモノニシテ、彼等ハ多ク内地ニ入り込ミ、無智ノ鮮人ニ莫爾比涅ヲ賣レリ。日本政府ハ廣大ナル土地ヲ軍用ニ充當シ、後之ヲ日本移住民ニ拂下ケ、斯クシテ富裕ナル幾千ノ鮮人ハ一朝ニシテ貧困ニ陥リタリ。

故伊藤公ニ對シテハ、著者ハ至大ノ尊敬ヲ拂ヒ、其ノ功業ニ就キ賞讚ノ辭ヲ惜マサルモ、公ノ施設カ朝鮮ニ成ルヘク多數ノ日本人ヲ移住セシメントスル日本ノ政策ニ禍サレタルヲ遺憾トシ、此カ爲、鮮人ヨリ其土地不動産ヲ掠奪スル不法行爲ノ行ハレタル外、日本移住民ノ多クハ鮮人ニ對スル行動殘忍倨傲ヲ極メ、

遂ニ鮮人ノ好意ヲ得ル能ハサルニ至レリ。

長谷川大將モ亦鮮人抑壓政策ヲ可トシ、之ヲ實施シ、朝鮮ハ日本ニ取リテ戰略上重要地位ヲ占ムルヲ以テ、此ノ見地ヨリ鐵道ハ敷設セラレ、壯大ナル道路ハ開設セラレ、之ニ對シテ鮮人ハ勞働ヲ強制セラレタリト云ヒ、田中伯ノ朝鮮堂塔日本移送事件ニ就キテハ其ノ真相ヲ摘發シテ餘蘊ナシ、千九百六年、鮮人カ正義軍ヲ組織シテ日本政府ニ對シ反旗ヲ翻シタル際、著者ハ普ク反亂地方ヲ旅行シテ其ノ見聞セシ事實ヲ列序シ、殊ニ繁華ナリシ都邑カ日本軍隊ノ爲メニ破壞サレ廢墟トシテ其跡ヲ留ムルニ至リシ事ヲ浩嘆ス。

故寺内伯ノ朝鮮總督在任當時ノ政策ヲ論シテ曰ク『有ユル施設有ユル法令ハ最モ峻巖ナル最モ假借セサル帝國主義、軍國主義ノ發現ニシテ、然モ日本人ハ出發點ニ於テ既ニ謬想ニ拘ヘラレ、鮮人ニ對シ寸毫ノ同情モナク、鮮人特有ノ思想ヲ破壞シ、固有ノ風習ヲ滅却シ、以テ鮮人ヲ變シテ劣等型式ノ日本人ト爲サントセシカ故ニ、日本カ朝鮮ニ及ホセル幾多ノ物質上ノ進歩モ、結局鮮人ニ對シテ何等效果ヲ與ヘス、爲ニ日本ノ朝鮮統治ハ失敗ニ終レリ。又總督府官憲ハ鮮人ノ利害ヲ顧慮セス、唯日本ヨリ移住セシ開拓者及ヒ農民等ノ利益ヲ計ル事ヲ以テ其ノ第一義トシタリ。即チ故寺内伯ノ眼中ニハ、鮮人ハ單ニ併入セラレ若クハ削減セラルヘキ民族トシテ映シタルモノノ如シ』ト。之ヲ論シタル一章ハ一八七頁ヨリ二〇三頁ニ亙リ、日本人カ鮮人ヲ虐待シテ不具ナラシメタル事、笞刑、警官ノ犯罪捏造、出版物檢閲、東洋拓殖會社ノ如キ會社經營ニ由ル鮮人所有土地ノ徵收、朝鮮ノ最モ肥沃ナル土地ノ五分ノ一カ令ヤ日本人ノ專有ニ係ル事、

道路開築ノ爲鮮人ニ課スル強制的勞役、賣淫、鮮人ノ朝鮮政治參與ノ途ヲ杜塞スルコト、鮮人ニ對シ自ラ優秀民族ナリト做ス日本人ノ暴慢等、一一實例ヲ擧ケ、苛烈ノ筆ヲ揮ツテ縱橫ニ日本ヲ攻撃ス。

千九百十四年、日本軍隊カ朝鮮ニ入りシ時、列國ハ日本カ舊政府ヲ廓清シ其ノ暴虐ト秕政ヨリ鮮人ヲ救フモノト信シ、之ヲ歡迎シ、日本官憲ト外國宣教師トノ關係モ亦頗ル圓滿ナリシモ故寺內伯ノ朝鮮總督就任ヲ見ルニ至ツテ、兩者間ニ紛紜絶ヘス起リ、今日ニ於テハ在鮮外國人ハ事實上悉ク日本政府ニ對シ反感ヲ抱ク。著者ハ此ノ反感ノ由ツテ來ル所ハ日本官憲ノ朝鮮ニ於ケル、耶蘇教會ヲ日本化シ、七百七十八ノ宗教學校ヲ閉鎖セシメントスルヲ目的トスル條例ヲ公布シタルニ在リト斷ス。

著者ノ云フ所ニ依レハ故寺內伯ノ指揮下ニ屬セシ總督府官憲ハ、北方朝鮮ノ鮮人耶蘇教徒ヲ目シテ同化政策實行ニ關スル一障礙ト做シ、彼等ハ日本統治ニ對シ陰カニ謀ル所アリト誣ヒ、無辜ノ民ニ迫害ヲ加ヘタリ。著者ハ此ノ所謂陰謀ニ連坐シテ逮捕セラレタル鮮人ノ第一回公判ト第二回公判ノ結果ヲ比較シテ、其ノ異ル所以ハ全ク是等罪囚カ其ノ間拷問ヲ受ケタル證左ナリト主張シ、日本人自身モ此ノ事件カ單純ナル捏造ナルヲ確知スル事ハ、間モナク尹智靈男ハ釋放セラレ、京城ニ於ケル基督教青年會ノ幹事トナリ、國人カ暗殺セントシタリト云ハレタル寺內伯ハ即時多額ノ寄附ヲ爲セリト述フ。

第十四章以降、本書ハ最近朝鮮ニ起リシ事件ヲ敘シ、日本官憲カ各學校ニ於テ日本語學習ヲ強制シ、青年鮮人間ニ磅礴タル朝鮮獨立ノ氣勢ヲ削カントシテ汲汲タル事『獨立日』ニ於ケル鮮人兒童ノ反日集團運動等

ニ言及シ、鮮人ノ獨立運動ニ外國宣教師ノ關係ナキ事實ハ日本官憲ニ驚愕ヲ以テ迎ヘラレタルニ見テ如何ニ彼等ノ迂遠ナルカヲ知ルヘク、若シ該運動ニ何等外國ノ影響アリタリトセハ、ソハ米國大統領ウイルソン氏ノ弱小國民ノ權利ニ關スル宣言ナルヘシト冷笑ス。

有史以來、朝鮮國民ハ初メテ今ニ於テ絶對團結ヲ成ス事ヲ得タルモノニシテ、突如日本ヲ愕カシタル鮮人ノ獨立運動ハ暴動ニ非スシテ憲法上ノ變化ヲ要求スル穩健ナル示威運動ニ過キス。然モ飽ク迄苛酷ナル手段ヲ以テ該運動ヲ阻止セントスルカ故ニ、日本ハ茲ニ鮮人ノ好意ト好感ヲ贏チ得ヘキ最後ノ機會ヲ失ヒタリ。而シテ此運動抑壓ニ際シテハ、殊ニ鮮人耶蘇教徒ニ過重ノ迫害ヲ加ヘ、彼等ハ多クノ場合ニ於テ、其ノ耶蘇教徒タルカ故ニ捕縛サレ、有ユル虐待ヲ蒙ムリタリ。著者ハ鮮人ニ對シ行ハレタル拷問ト無益ノ殺傷ハ全然事實ニシテ、然モ犠牲トナリタル鮮人ハ從順ナル事宛モ屠所ニ牽カルル羊ノ如クナリキト云フ。著者ハ仔細ニ平壤ニ於ケル鮮人騷擾事件ニ關連シテ多數女學生ノ受ケタル非行、殊ニ彼等カ警察署ニ於テ裸體トセラレ種種ノ汚辱ヲ蒙ムリタルヲ報シ、日本官憲カ專ラ緘口政策ヲ執リタルニモ拘ハラヌ、是等ノ報道ハ海外ニ傳ハリ外國民ノ激怒ヲ醸シタルヲ以テ、日本政府ハ適當ノ措置ニ出ツルノ餘儀ナキニ至リ、日本人スラ此ノ事件ヲ調査シテ、總督府ニ對シ攻撃ノ矢ヲ放ツニ及ンテ、齋藤男ノ朝鮮總督ノ就任ヲ見、今ヤ緩和セラレタル政策實施セラレントシツツアルモ、然モ鮮人ノ同化併入政策ハ依然トシテ日本ノ朝鮮統治ノ主眼タルニ鑑ミ、鮮人間ノ不安ト不滿ハ永ク日本ニ累ヲ及ホスヘシト結フ。

朝鮮統治批評ノ書柬

三二

ヘンリー、エム、フルーエン

大邱ニテ

一九二〇年十二月三日付

ヘンリー・エム・ブルーエン

東京ニテ

ギルバート・ボウレス宛

我等ハ再ヒ恐怖時代ニ遭遇シ今回ハ其ノ場面滿洲ニ移リ居リ申候小生ハ我カ宣教會ヨリ病氣休暇中ナル擔任宣教師ノ代理トシテ滿洲ニ赴キ二箇月間滯在同地朝鮮人教會訪問ヲ爲スヘキ命ヲ受ケ十一月六日奉天ニ入り同十三日奉天ノ東方百哩ナル「シンジン」ニ到着致シ候處該地方ノ狀況ハ別紙添付書類ニ記載セル通ナルヲ發見致シ候教會堂ハ或ハ破壊セラレ或ハ燒拂ハレ教會有力者ハ多クハ殺害セラレ手ノ着ケ様モ無之次第ニ付當地ニ歸還シ其ノ實狀ヲ日本ノ一般基督教徒ニ訴ヘ之ニ關スル發言ノ機會ヲ彼等ニ與ヘ度希望致シ候此等ノ事實ハ「北京天津タイムス」及「アドヴァータイザー」兩紙ニ可ナリ能ク現ハレ居リ候ニ付貴下ニ於テモ前記虐殺防止ノ爲御利用相成度候日本政府ハ事實調査ノ爲委員ヲ派遣セシ趣ニ候得共其ノ結果ヤ知ルヘキノミニ御座候貴下ハ日本基督教徒ノ最善分子ト御昵懇ト存候ニ付本書翰ヲ呈シ候次第ニ御座候彼等ハ

本件ニ關シ相當ト思惟スル抗議ヲ爲スヘキ義務ヲ有スルノミナラス又現ニ其ノ機會ヲ有スルモノト信シ申候 敬具

添付書類ノ一

(題名出所共ニ記載ナシ)

日本歩兵五百ノ一隊ハ十月二十九日奉天ヨリ「ヒンキン」縣ニ到リ附近地方在住ノ朝鮮人ニ天長節祝宴ノ招待狀ヲ發シ祝節當日日本兵士ハ何心ナク該招待ニ應シテ出發シタル「マンチンメン」居住ノ朝鮮人基督教會有力者及其ノ他ノ者九名ヲ中途「タンチャンタイ」ニ於テ捕縛拘禁シ十一月一日遂ニ何等審問スル様子モナク或ハ頸部或ハ胸腹部ヲ突刺シ殺戮シタリ被害者中ニハ教會長老三名學校教師二名アリタリ又同日該縣内ノ一教會堂ハ全部焼拂ハレ其ノ二日ノ後他ノ一教會ハ滅茶滅茶ニ破壊セラレ其ノ翌四日ニハ又他ノ一教會焼拂ハレ聖書讚美歌集ヲ搜索シテ燒棄テ八人ヲ捕縛シテ其ノ内六人ヲ前記同様ニ虐殺シタリ被殺者中教會長老二人學校教師一人アリタリ叙上被害教會長老中ニハ朝鮮獨立運動ニ連累ナク政治上ニ付テハ何等強烈ナル偏僻心ヲ有セサルヲ以テ著名ナル者モアリシナリ殊ニ此等ノ非行ハ支那ノ領土内ニ於テ全然主權ヲ無視シテ行ハレタルモノニシテ之ニ對スル支那人ノ感想如何ハ絮說ヲ須ヒサル所ナリ

添付書類ノ二

西間島モ間島ト運命ヲ共ニス

十一月三日及同月十三日發行ノ「北京天津タイムス」ハ間島征伐ト題シ同地ニ於テ日本兵士カ教會堂ヲ破壊燒燬シ朝鮮人ヲ殺戮シテ恐怖時代ヲ現出シタル記事ヲ掲載セルカ今ヤ西間島ニ於テモ亦同様ナル遠征隊ノ派遣ヲ見ルニ至レリ歩兵五百ヨリ成ル一隊ハ奉天ヨリ東進シ騎兵二百五十ヨリ成ル一隊ハ同地ヨリ北進シ二方面ヨリ西間島ナル朝鮮人ノ最モ密ニ集團セル地方ヲ襲ヘリ騎兵隊ハ十月三十日一都會ニ駐屯シ翌天長節祝日ニハ祝賀會ヲ開催シ居住朝鮮人等ニ國旗掲揚ヲ強制シ別ニ一組ノ兵士及探偵ヲ朝鮮人ノ一集團地ニ派シ祝賀會ニ參列スヘシト強ヒテ朝鮮人教會ノ有力者八人ヲ羅致シ中途ニ於テ之ヲ捕縛拘禁シ翌日本隊ノ到著ト共ニ劊ヲ以テ或ハ突刺シ或ハ咽喉ヲ切リテ之ヲ殺戮シタリ之ト同時ニ他ノ一隊ハ附近ノ一教會堂ヲ燒キ又次ノ部落ノ一教會ハ周圍ニ支那人ノ集團アリシ爲放火ヲ免レタルモ全ク破壊セラレ有力者六人殺害セラレタリ翌日は等ノ兵隊ハ次ノ教會ニ到リ聖書讚美歌集及牧師ノ藏書等全部ヲ集メ石油ヲ投シテ會堂ト共ニ燒拂ヒ行ク行ク基督教徒ノ住宅ヲ搜索シ聖書讚美歌集ヲ持出シテ破却投棄セリ此ノ地ニ於テモ殺戮セラレタルコト明白ナルモノ六人アリ内一人ハ五十五歳ノ長老ニテ排日思想ヲ有セサル者トシテ知ラレタル者ナリシナリ此ノ外死者三十名アリシ由ニテ其ノ半ハ姓名明ナリト云フ叙上ノ事實ハ次ノ事項ヲ立證スルモノト謂フヘシ

(一) 基督教會カ攻撃ノ正面ノ標的ナルコト、被害者カ會堂燒燬ニ伴フ一般失火ノ場合ニ非基督教徒ヲ含ムコトアル外ハ總テ基督教徒ナルコト

(二) 教會有力者ヲ搜索シ年齡及排日思想ノ有無ニ拘ラスシテ殺戮シタルコト

(三) 判明セル限リニテハ何等審問ノ意圖、形式スラナク無武裝者ヲ犬ノ如ク無警告ニ屠殺シ遺骸ハ路傍ニ投棄シ之ヲ蔽フニ少許ノ土砂ヲ以テシタルニ過キサレコト

(四) 右ハ獨逸的軍國主義ノ發露ニシテ之ヲ絶滅セサルヘカラサルコト東洋方面ヨリ軍國主義ヲ一掃セサルヘカラサルコトヲ發議スルノ義務ト機會トハ先ツ第一ニ日本人ノ手ニ存スルコト日本人ニシテ今日心ヨリ反對ノ聲ヲ揚クレハ是等ノ教徒モ犬死タラサルヘシ日本ハ歐洲大戰ニ參加シテ軍國主義ニ反對セリ今ヤ果シテ如何日本ハ今日一點ノ疑義ナキ様明白ニ其ノ意思ヲ表白セサルヘカラス

添付書類ノ三

警告文

本警告文ハ本年十月二十四日滿洲韓民防衛協會顧問「チエイ・チン・クエイ」ノ名ヲ以テ在滿朝鮮人ニ對シ獨立運動參加ノ無謀ナルヲ警告シ且該會ニ加入シテ不逞者ノ横暴ヨリ免ルヘキコトヲ勸告セルモノニシテ其ノ理由トシテ「獨立運動者ハ自他ノ力ヲ揣ラスシテ勝算ナキ非舉ヲ敢テセルノミナラス一般鮮民ノ困難ヲ顧ミスシテ殺人、詐偽、強奪等ノ横暴ヲ逞ウシ眞ニ國民ノ要望ニ副ハサルモノナリ故ニ自稱獨立運動者ハ皆基督新教徒ナルモ其ノ良心ヲ失ヒ全ク教義ヲ解セサルモノナリ彼等ハ時勢ノ力ヲ解セス徒ニ日米戰爭ヲ云爲スルモ自己ノ力ヲ恃ム能ハスシテ他ノ庇護ニ依ラムトスルカ如キハ愚ト謂ハサルヘカラス今ヤ支那官

憲ハ各地ニ朝鮮獨立運動者逮捕ノ命令ヲ發シ日本軍隊亦彼等ヲ殺戮シテ假借スル所ナク災害困厄吾人ノ願
上ニ迫リ來レリ獨立ニハ自カラ時機アリ在滿鮮人諸士ハ宜シク多數民衆ノ愚蒙ニ同情シ速ニ本會ニ加入シ
テ自己、眷族、國民及民族ノ災禍ヲ防止スヘキナリ」云云ト宜言セリ

大正九年十二月二十五日 印刷
大正九年十二月二十八日 發行

朝鮮總督府

京城旭町貳丁目十番地

印刷所 京城印刷所